

決議案第 1 号

2016年主要国首脳会議 関係閣僚会合のつくば市開催を求める決議

上記の決議案を次のとおり提出します。

平成27年 3月19日

提出者	つくば市議会議員	大久保 勝 弘
賛成者	つくば市議会議員	五 頭 泰 誠
	”	北 口 ひとみ
	”	塚 本 洋 二
	”	古 山 和 一
	”	小 野 泰 宏
	”	滝 口 隆 一

2016年主要国首脳会議 関係閣僚会合のつくば市開催を求める決議

2016年（平成28年）に日本で開催予定の主要国首脳会議（サミット）は、世界の主要国の首脳が、政治的・経済的な課題を議論する世界で最も注目される会議である。その開催に併せて、科学技術、エネルギー、環境、農業など分野ごとに、地球規模の重要課題について関係閣僚会合が開催されており、その開催地として茨城県及びつくば市が立候補し、つくば市開催を目指して誘致を進めているところである。

つくば市は、世界に先駆けて建設された筑波研究学園都市を擁する都市である。現在では、国の研究機関等の約3割にあたる32機関が集中しており、2万人もの研究者が研究開発に従事するなど、最先端の科学技術が集積する世界最大級の科学技術都市となっている。各研究機関や大学では、最先端の科学研究や技術開発により、環境汚染対策、持続可能なエネルギーの実現など地球規模の課題解決のためにオールつくばで取り組んでいるところである。

この地で「科学技術大臣会合」、「エネルギー大臣会合」などが開催されれば、日本の将来に対する明確な役割と責任が全世界に向けて発信されるとともに、科学技術イノベーションの推進等を掲げる我が国の成長戦略推進にもつながっていくものと確信する。

会合のメイン会場として予定している「つくば国際会議場」を中心とするつくば地区は、年間約50～60件の国際会議を開催しており、その開催数は全国でも上位に位置している（JNTO国際会議統計）。つくば市で開催されれば、都内からの交通アクセスの良さはいうまでもなく、国際空港から至近距離にあること等の優位性を強みに、官民が一体となった十分なおもてなしができる体制で関係者の方々を迎えることが可能である。

よって、つくば市議会は、2016年主要国首脳会議 関係閣僚会合のつくば市開催を強く要望する。

以上決議する。

平成27年3月19日

つくば市議会